土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	国道182号　設計業務委託（交通安全・下加茂工区）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　道路路盤

ボーリング名	No.4	調査位置	福山市加茂町下加茂(X=-157230.723,Y=107925.908)			北緯	34° 34’ 37.2223″		
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	令和2年11月12日～ 令和2年11月13日	東経	133° 20’ 34.7602″		
調査業者名	明伸建設コンサルタント株式会社　福山営業 電　話　084-973-1360	主任技師	村上　慎治 地質調査技士登録番号：第10605号	現場代理人	末重　宜洋 地質調査技士登録番号：第16177号	コア鑑定者	末重　宜洋 地質調査技士登録番号：第16177号	ボーリング責任者	加藤　金豊 地質調査技士登録番号：第8649号
孔口標高	TP 34.70m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D2G-58
総削孔長	5.00m							エンジン	ヤンマーNS-130　ポンプ：東邦BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度―N値図 0 10 20 30 40 50 60	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	33.70	1.00		砂質土		茶褐			盛土 砂は細～中砂主体 上部は耕土状を呈す	11/12 0.85		10	1.15	2	3	5	10/300							
2	32.70	2.00		礫混じり砂		茶灰	rd3		河床堆積物 砂は中～粗砂主体 径1～5cmの亜角礫～亜円礫を30～40%混入する				1.45											
3	31.00	3.70		花崗岩		淡褐灰			花崗岩の強風化土 風化が進行し，砂質土状～砂状コアで採取される 岩級区分：DM			50以上	2.15 2.42	12	20	18 70	50/270	270					
4	30.50	4.20		花崗岩		淡褐灰			花崗岩の風化土 砂～細礫状コアで採取される 岩級区分：DH			50以上	3.05 3.23	27	23 80		50/180	180					11 12
5	29.70	5.00		花崗岩		淡褐灰			見かけ上柱状コアで採取されるが，潜在亀裂が発達している コアは軟質であり，ハンマー軽打で用意に砕ける 所々，硬質部分を残す 岩級区分：CL			50以上	4.05 4.14	50 90			50/90	90					11 13
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							